



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

サウジアラビア：巡礼者のための対応

(10月8日付サウジ・ガゼット紙)

1. 7日、ハッジ担当民間防衛局長は、緊急時に5万人以上の巡礼者を収容できる避難場所を用意しており、1,200名の民間防衛局員が緊急事態に備え配置され、さらにミナでは巡礼が円滑に行われるよう1,500名が配置される予定だと述べた。
2. マシャーイル鉄道については、安全確保対策の一環として、輸送巡礼者数を50万人から37万7,000人に縮小している。
3. ハッジ省安全部長は、巡礼者の宿泊施設などの視察を強化し、トンネル、モスク、病院、畜殺場などの安全性をチェックしており、施設が非常口、電気配線網、消火器を備えていることも確認していると述べた。また、同省危機管理部長は、危機管理部は全ての潜在的なリスクを分析しているので、ハッジ期間中の危機管理体制に万全であり、巡礼の儀式が行われる場所、昼夜天候も監視し、大雨や強風対策に備えていると述べた。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799